

2019年度調達予定一覧

・下記については2019年6月10日現在の調達予定であり、  
 件名、契約方式、公告予定時期、予定履行期限、業務概要等記載内容について変更や追加、取り消しを行う場合があります。

件名	契約種別	新規・継続	契約方式	公告予定時期	予定履行期限	業務概要
2019年度 教育研究会組織等に対する授業研究支援	役員調達	新規	一般競争	2019年6月	2020年3月	・全国15組織程度の研究会組織への支援活動 ・全国大会の開催 ・エネルギー教育専用サイトの構築・管理 ・教材の開発 ・教育事業や教材開発に関するコンサルタント業務
TRU廃棄物を対象としたPEMIに適用する廃棄体パッケージの設計	委託	新規	一般競争	2019年6月	2020年3月	機構では、人工バリア設計オプションの整備を目的として、TRU廃棄物を対象としたPEM方式の適用性の検討を進めている。PEM方式の適用に先立ち、閉じ込め性を高めたTRU等廃棄物の廃棄体パッケージ容器の形状、構造などの仕様を検討する。
数値データの取り扱いに係る品質管理手法の整備	委託	新規	一般競争	2019年6月	2020年3月	データベースに取りまとめた既存の地質環境データを対象に、入力情報の品質確認を行うとともに、作業結果を分析して実効性がある品質管理方法を検討する。
建設・操業に伴う湧水量の評価および化学影響評価技術の整備	委託	新規	公募	2019年7月	2020年3月	これまでに整備した湧水評価技術を用いて、グラウト工などの湧水抑制対策の効果や、地表からの酸素の流入に伴う処分場の化学影響について評価する。
処分場スケールを対象とした粒子追跡解析手法の構築	委託	新規	一般競争	2019年7月	2020年3月	2018年度に作成したパナレスケール(平面の拡がり <sup>1</sup> が1000m×1000m程度)を対象とした粒子追跡解析モデルについて、処分場全体を包含する処分場スケール(平面の拡がり <sup>1</sup> が数km×数km)程度まで拡張する。
付加体堆積岩を対象とした地質環境情報の整備	委託	新規	一般競争	2019年7月	2020年2月	サイト選定において現実的に想定される地質環境のうち、情報量が少ない付加体堆積岩類に係る科学的知見を拡充するために、ボーリング孔を掘削し、ボーリング孔やコアを利用した各種調査・試験を行い、割れ目の分布、透水係数、地下水水質などの地質環境情報を整理する。
深成岩類を対象とした四次元地質環境モデルの構築技術の高度化にかかわる検討	委託	新規	一般競争	2019年7月	2020年3月	長期にわたる地形変化や気候・海水準変動に伴う地質環境特性(水理場や化学場の長期変遷や処分場を想定した領域を通過する地下水の地表までの移行経路など)の時間的・空間的变化のモデル化技術を整備する。特に包括的技術報告書の検討対象母岩のうち、深成岩類を対象として、地形・地質構造、水理地質構造のモデル化、および地下水流動・物質移行解析を実施する。
X線CTによる鋳鋼ブロックの鋳造欠陥の分析	委託	新規	一般競争	2019年7月	2019年10月	鋳鋼製オーバーパックから採取した鋳鋼ブロックに対して、適切に機械加工を行ったうえでX線CTを行い、鋳造欠陥の大きさおよび分布を測定する。
炭素鋼腐食生成物の固相分析および鋼中水素量分析	委託	新規	一般競争	2019年7月	2019年11月	炭素鋼腐食生成物の固相分析(ラム分光分析等)と鋼中水素量分析を実施する。
ボーリング孔を利用した地質環境の長期モニタリング技術の高度化(2019)	委託	継続	公募	2019年7月	2020年3月	既存の地下水の水圧・水質長期モニタリング装置の課題を踏まえ、光ファイバセンシング技術を用いて、精度・耐久性・メンテナンス性を向上させたモニタリング装置を整備する。特に複数の光ファイバを一体化した光ファイバセンサーケーブルの性能確認、バックの遮水性能、および採水機構の性能確認を行い、モニタリング装置全体の基本設計を行う。
長期的な自然現象の発生可能性および地質環境の状態変遷の評価技術に関する検討(その2)	委託	新規	一般競争	2019年8月	2021年3月	マグマの貫入・噴出、断層の分岐・伸展、深部流体の移動・流入、隆起・沈降傾向の変化などに係る科学的知見を整理し、わが国の自然現象の地域的な特徴に基づく類型ごとの自然現象の発生から地質環境の状態変化に至るシナリオを設定する。また、代表的な類型に含まれる地域を対象に、自然現象の発生とそれに伴う地質環境の状態変化の確率論的評価に必要なデータセットを作成し、それに基づき国内専門家を変えたケーススタディを実施する。
ボーリング孔の閉塞技術の検討(2019)	委託	継続	一般競争	2019年9月	2021年3月	地表から掘削したボーリング孔が水みちとならないようにするため、ボーリング孔内に残置した試験装置やケーシングパイプなどの回収技術の検討、地質環境に対応したボーリング孔の閉塞材の性能確認、変質試験および実規模の模擬ボーリング孔を利用した施工性確認を実施する。また、実際の地質環境での実証試験を行うための閉塞材の加工、運搬、施工管理などを行う。
地層処分事業に係る社会的側面に関する調査研究・支援の運営委託(2020・2021年度)	役員調達	新規	一般競争	2019年9月	2022年3月	様々な分野の学者や専門家による社会的側面に関する調査研究を支援する。その際、研究テーマや研究者は有識者からなる運営委員会(仮称)を設置し、中立的な運営によって採択する。また、研究が適切に行われるよう、適宜、研究状況のフォローを行う。なお、この取組みを継続的に行うため、一定のスキームを構築し、関係者間の役割分担のもと、的確にスキームを運営する。

【問い合わせ先】 原子力発電環境整備機構 総務部 経理・資材グループ 03-6371-4022(ダイヤルイン)